

令和6（2024）年度

柏崎市早期療育事業元気館事業所評価結果

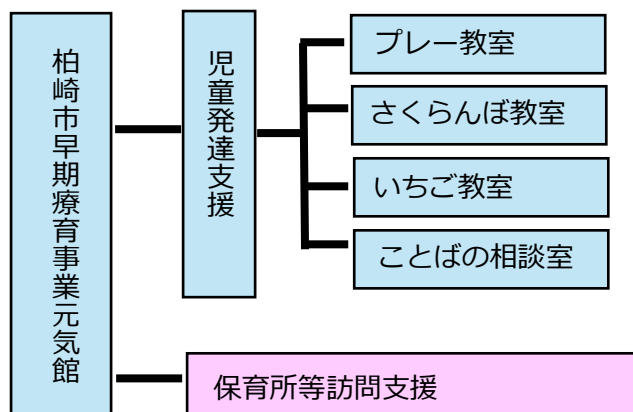
1. 柏崎市早期療育事業元気館について

○事業所の基本理念

「私たちは、一人一人のこどもの笑顔を大切に育みます。」

「私たちは、ご家族の気持ちやニーズに寄り添います。」

「私たちは、チームの幅を広げながら、こどもの心と体の発達を支援します。」



2. 障害児通所支援事業における事業所評価について

児童福祉法に基づく指定通所支援の事業所等の人員、設備及び運営に関する基準により、自己評価及び保護者評価（保育所等訪問支援においては訪問先評価）を行うとともに、自己評価及び保護者評価（保育所等訪問支援においては訪問先評価）並びに評価を受けて図った改善の内容を公表しなければならないとされています。これが実施、公表されない場合、減算の対象となります。

柏崎市早期療育事業元気館においても自己評価及び保護者評価（保育所等訪問支援においては訪問先評価）を実施し、事業所の強み、事業所の弱みを確認し、改善に向け全従業員共通理解のもと改善に取り組みます。

3. 令和6（2024）年度事業所評価の取り組みについて

（1）実施時期

① 児童発達支援

自己評価：令和6（2024）年10月1日から10月31日

保護者評価：令和6（2024）年10月1日から12月20日

② 保育所等訪問支援

自己評価：令和6（2024）年10月1日から10月31日

保護者評価：令和6（2024）年10月1日から10月31日

訪問先評価：令和6（2024）年10月1日から10月31日

（2）実施方法

自己評価：児童発達支援担当職員14名、保育所等訪問支援職員2名（兼務職員あり）に対し、パソコン上で評価項目に沿って評価を行った。

保護者評価：9月1日以前に児童発達支援の利用を開始したお子さんの保護者108名、保育所等訪問支援を利用したお子さんの保護者3名に対し、Web上で評価項目に沿って評価を行った。

訪問先評価：保育所等訪問支援を利用した保育園、幼稚園3園に対し、評価表を送付し、評価を行った。

(3) 回収状況

自己評価

対象	総数	回答数	回収率
児童発達支援	14 人	14 人	100%
保育所等訪問支援	2 人	2 人	100%

保護者評価

対象	総数	回答数	回収率
児童発達支援	108 人	89 人	82.4%
保育所等訪問支援	3 人	3 人	100%

訪問先評価

対象	総数	回答数	回収率
保育所等訪問支援	3 園	2 園	66.7%

児童発達支援

(別紙3)

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	柏崎市早期療育事業元気館			
○保護者評価実施期間	令和6（2024）年 10月 1日		～	令和6（2024）年 12月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	108人	(回答者数)	89人
○従業者評価実施期間	令和6（2024）年 10月 1日		～	令和6（2024）年 10月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	14人	(回答者数)	14人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7（2025）年 1月 10日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	乳幼児健診（保健師）、新潟病院（医療）、就園先、就学先との連携が取りやすい環境である。	保護者の同意を得ながら、就学までの連携を行うことで、途切れない支援体制を構築している。	引き続き関係機関との連携を図り、途切れない支援体制を構築していく。
2	職員、利用児、保護者に対して新潟大学、上越教育大学教授からのスーパーバイズが受けられる。	・保護者座談会や講話の機会を設け、保護者からの心配事を聞くことで、育児不安の軽減や適切な就学支援等保護者支援を行っている。 ・職員の関わり方、お子さんの特性などについてアドバイスをもらい、支援に活かしている。	今後も定期的に教室に参加いただき、職員、利用児、保護者に対するスーパーバイズを継続していくことで、職員の質の向上と適切な支援を行うとともに、保護者支援も行う。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	受け入れ人数が限られてしまう教室がある。	会場の確保、職員の人数で受け入れ人数が限られてしまう。	外部の児童発達支援事業所の利用や就園先へのアドバイスなど教室の受け入れ以外でも必要な支援が受けられるよう取り組む。
2			

公 表

事業所における自己評価結果

事業所名		柏崎市早期療育事業元気館		公表日 令和7（2025）年 1月 20日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が活動 スペースとの関係で適切であるか。	14	0		
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	14	0		
	3	活動空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、お子さんの特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	14	0		
	4	活動空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	14	0		
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	14	0		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	14	0		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	14	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	14	0		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	0	外部評価は実施していない	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会が確保されているか。	14	0		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	0	0	未作成。R7.3までに作成、公表予定	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	14	0		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	14	0		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	14	0		
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	14	0		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	14	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	14	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	14	0		
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	14	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	14	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	14	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	14	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	13	0		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	14	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	14	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	14	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	14	0		
	28	(28～30は、センターのみ回答)			センターではないため回答不要	
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			センターではないため回答不要	
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			センターではないため回答不要	
	31	(31は、事業所のみ回答)	14	0		
		必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
保護者への説明等	32	保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他の子どもと活動する機会があるか。			事業所として交流の機会は設けていない。	
	33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	14	0		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	14	0		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	14	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	13	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	14	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	14	0		
	39	保護者座談会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	14	0		
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	14	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	14	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	14	0		
	43	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	14	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	0	地域住民を招待する行事を設けていない。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
非常時等の対応	45	事故防止・対応マニュアル、災害時対応マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	14	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	13	1		評価時点では業務継続計画は策定されていなかったが、その後策定、周知された。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	14	0		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	12	1		医師の指示書までは求めているが、保護者から聞き取りを行い対応している。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	14	0		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	13	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	14	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	14	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	13	0		

	公表	保護者等からの事業所評価の集計結果
--	----	-------------------

事業所名		柏崎市早期療育事業元気館					公表日 令和7（2025）年 1月 20日			
							利用児童数	108人（令和6（2024）年9月30日）	回収数	89人
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	87	0	1	1	□子供が集中して活動に取り組める環境になっていると思います。 ☒中に一緒に入っていないので、中でのことは、良く分かりません。 ■土足なのか、土足禁止の部分なのか分かりにくい所がある。 ■子供がのびのびと遊べる雰囲気ではない	・教室ではお子さんが活動に集中できるよう構造化した空間を整備しています。 ・教室を行う場所は土足禁止となっています。元気館の他の部分は土足の場所と土足禁止の場所がありますのでわかりやすい表示に、努めていきます。		
	2	職員の配置数や専門性は適切ですか。	82	3	1	3				
	3	活動空間は、お子さんにわかりやすい環境になっていますか。また、障害の特性に応じ、事業所（教室）の設備等は、バリアフリー化や情報伝達への配慮が適切になされていると思いますか。	86	1	1	1				
	4	活動空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子どもたちの活動に合わせた空間となっていると思いますか。	85	1	1	2				
適切な 支援の 提供	5	お子さんのことを十分に理解し、お子さんの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	78	5	1	5	□先生が子供の特性や成長に合わせて柔軟に工夫して支援してくれています。 □子どもにとっての性格や成長に合わせてくんだり大変ありがたいし本人も楽しんでいるので嬉しいです。 ■メリハリのない声かけが子どもに合っているのかが分からない。	・わかりやすい指示、視覚支援、行動に対する評価を基本とし、お子さんが「できた」「またやってみたい」と感じられるよう支援しています。 ・職員は定期的にカンファレンスを行うとともに専門の職員（大学教授）からのスーパーバイズを受け、スキルアップできるような体制を整備しています。		
	6	お子さんのことを十分に理解し、お子さんと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で児童発達支援計画が作成されていると思いますか。	81	3	1	4				
	7	児童発達支援計画には、「本人支援」「家族支援」「移行支援」についてお子さんの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	80	3	1	5				
	8	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	81	3	1	4				
	9	事業所の活動は、固定化されないよう工夫されていると思いますか。	70	9	1	9				
保護者への 説明等	10	運営規定、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	84	1	1	3	■説明が不十分で不安だった	・保護者に対して契約の機会をとおして利用者負担や個人情報の取り扱い、事業所の職員配置等について説明を行っています。また、保護者と定期的に相談できる体制を確保しています。保護者が不安にならないよう丁寧な説明を行います。		
	11	児童発達支援計画を示しながら支援内容の説明がなされましたか。	83	3	1	2				
	12	保護者に対してペアレント・トレーニングや保護者も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	82	0	1	6				
	13	日頃から、お子さんの状況を保護者と伝え合い、お子さんの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	80	6	2	1				
	14	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	81	5	1	2				
	15	教室の職員から共感的に支援されていると思いますか。	83	1	2	3				
	16	お子さんや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、相談・申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	75	5	2	7				
	17	お子さんや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	78	4	1	6				
	18	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をお子さんや保護者に対して発信されていますか。	50	10	2	27				
19	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	78	3	1	7					
非常時 等の 対応	20	事故防止・対応マニュアル、災害時対応マニュアル、感染症対策マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	34	11	4	40	■怪我や事故あった場合の説明が無かった	・契約書の中に怪我や事故があった場合の対応について記載させていただき、契約の際説明を行っています。引き続き契約の際丁寧な説明を行います。		
	21	お子さんの安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	80	3	1	5				
	22	事故等（怪我等を含む）が発生した際に、速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	51	6	3	29				
満足度	23	お子さんは安心感をもって通っていますか。	84	3	2	0	□教室に通うようになり、苦手なことに少しずつ挑戦できるようになってきて成長を感じています。先生の接し方、声かけが参考になっています。 □毎回通室するのが大好きです。通室予定を聞いてきてカレンダーに書いています。 □子供も楽しんで参加できているので良かったと思っています。 □いつも励ましながら子どもたちに関わっていただき大変感謝です。 □本人が楽しみにして通う事ができているので満足している。 □少しずつですが教室へ通い出して保育園で我が子の成長を垣間見れるところがあり通ってよかったって思えて満足しています。	・多くのお子さんが通室を楽しみに、安心して利用してもらえています。一方で少数のお子さんは満足できていない結果となっています。お子さんの成長を支援できるよう努めていきます。		
	24	お子さんは通うことを楽しみにしていますか。	73	14	2	0				
	25	事業所（教室）の支援に満足していますか。	83	4	1	1				

保育所等訪問支援

(別紙4)

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	柏崎市早期療育事業元気館			
○保護者評価実施期間	令和6（2024）年10月1日		～	令和6（2024）年10月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3人	(回答者数)	3人
○従業者評価実施期間	令和6（2024）年10月1日		～	令和6（2024）年10月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2人	(回答者数)	2人
○訪問先施設評価実施期間	令和6（2024）年10月1日		～	令和6（2024）年10月31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	3園	(回答数)	2園
○事業者向け自己評価表作成日	令和7（2025）年1月10日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	訪問先の園の対象児以外のお子さんについても連携を行うことができた。	・他の子ども含めたクラス運営について助言することで、本人及び他のお子さんの成長を促す。 ・本人のニーズに合わせた活動場面に訪問することで必要なアドバイスを行う。	今後も本人のニーズに合わせた訪問、本人だけでなくクラス全体の成長支援に取り組む。
2	保護者に対して園の先生から伝えにくい発達のことについて支援員から伝えることができた。	支援員との信頼関係を構築した上で、お子さんの特性や関わり方について伝えている。	保護者や就園先との信頼関係を構築できるよう努めていく。
3	心理士が支援員として訪問することで、発達特性などの見立てを行い支援することができた。	支援員を心理士が担うことで発達の見立てを行い、特性に応じた支援方法を就園先に伝えている。	今後もお子さんに必要な支援が行われるよう適切なアドバイスを行う。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	就園先の先生への関わり方のアドバイスが中心なため、間接的な援助になってしまう。	保育所等訪問支援の目的や支援方法について訪問先へのレクチャーが不足している。	就園先への事業の目的の説明や具体的な支援方法を伝えるよう心掛け、実践してみようと思えるよう伝える。
2	訪問時の様子を保護者にフィードバックするが、保護者の反応を就園先にフィードバックする機会がない。	保護者の反応を就園先に返す設定がなかった。	今後、訪問→保護者へのフィードバック→園へのフィードバックという流れを繰り返していく設定にする。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和7（2025）年 1月 20日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境 制・ 整 運 備 営 ・	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。		2	園にある教具教材を使わせてもらっている。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	2			
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、 広く職員が参画しているか。	2			
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設け ており、その内容を業務改善につなげているか。	2			
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善 につなげているか。	2			
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている か。			第三者評価は実施していない。	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で 研修を開催する機会が確保されているか。	2			
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を 作成しているか。	2			
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者 だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こども の最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2			
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と 連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	2			
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	2			
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォー マルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルな アセスメントを使用する等により確認しているか。	2			
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保 育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容 が設定されているか。	2			
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	2			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行ってい るか。	2			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援 の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2			
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重し て支援を行っているか。	2			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善 に繋げているか。	2			
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育 所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っ ているか。	2			
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議 に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2			
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、 教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2			
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、 支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2			
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受け たり、職員を外部研修に参加させているか。	2			
	24	(自立支援)協議会子こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積 極的に参加しているか。	2			
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や 課題について共通理解を持っているか。	2			
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログ ラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機 会や情報提供等を行っているか。	2			
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2			
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に 説明を行っているか。	2			

保護者等への説明等	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2			
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	2			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	2			
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。			実施なし	
	33	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	2			
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2			
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	2			
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	2			
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	2			
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2			
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	2			
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		2	策定していない	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2			
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2			
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2			

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 柏崎市早期療育事業元気館

公表日 令和7（2025）年 1月 20日

利用児童数 3人（令和6年10月1日）回収数3人

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	3					
	2	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	3					
	3	お子さんの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	3					
適切な支援の提供	4	お子さんのことを十分に理解し、お子さんの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思えますか。	2	1				
	5	お子さんのことを十分理解し、お子さんと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画が作成されていると思えますか。	3					
	6	保育所等訪問支援計画には、訪問先施設（幼稚園・保育園）や担任等の意向が盛り込まれていると思えますか。	3					
	7	保育所等訪問支援計画には、具体的な支援内容が設定されていると思えますか。	2	1				
	8	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思えますか。	3					
	9	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設（幼稚園・保育園）に配慮した支援が行われていると思えますか。	3					
保護者への説明等	10	事業所（柏崎市早期療育事業元気館）を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	3					
	11	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	3					
	12	必要なときにお子さんの状況を保護者と伝え合い、お子さんの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思えますか。	3					
	13	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	3					
	14	事業所（柏崎市早期療育事業元気館）の職員から共感的に支援をされていると思えますか。	3					
	15	お子さんや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、お子さんや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	3					
	16	お子さんや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思えますか。	3					
	17	訪問先施設（幼稚園・保育園）からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思えますか。	3					

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	18	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設（幼稚園・保育園）と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	3					
	19	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	3					
	20	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	3					
非常 対応 等の	21	事業所（柏崎市早期療育事業元気館）では、緊急時の対応について訪問先施設（幼稚園・保育園）と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	3					
満 足 度	22	お子さんは訪問支援を嫌がっていませんか。	3					
	23	事業所（柏崎市早期療育事業元気館）の支援に満足していますか。	3					

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

公表日 令和7（2025）年 1月 20日

事業所名 柏崎市早期療育事業元気館 利用児童数 3人（令和6年10月1日）回収数 2人

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
①	訪問支援員からの助言や説明は、具体的にわかりやすく、取り入れやすいものですか。	2					
②	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	2					
③	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	2					
④	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	1	1				
⑤	事業所からの支援に満足していますか。	1	1				
その他ご意見					御意見を踏まえた対応		
・利用児の発達段階や特性から支援は長期的なものであるため、訪問支援を利用してもこの半年の間で課題の解消・軽減というのはあまり感じられていない。 ・訪問後の報告を受けた際の保護者の反応や意見、園生活に対しどのように考えているか等、園として情報を共有できるよう聞けばよかったと感じた。 ・対象児に合わせた適切なアドバイスや指導があり、保育に実践することができた。また、訪問支援員の方は、専門的な知識が豊富で保育者の悩みにもその都度答えてくれ感謝している。ありがとうございました。					プレー教室から就園するお子さんが保育所等訪問支援を利用することでスムーズに園適応できるよう支援している。訪問先の園には訪問の目的を丁寧に説明していきたい。利用したお子さんは園適応も良好であり、保育所等訪問支援の効果があると推察される。今後は保護者へのフィードバックだけでなく、訪問先への保護者の反応をフィードバックするなど連携を取りながら進めていきたい。		